

2021年3月13日

CFPのメンテナンス剤について

この度、G・Force-1のメンテナンス剤であるアウルコートが発売開始しましたところ、弊社メンテナンス剤について多くのお問合せを頂いております。そこで、本製品の発売に至るまでの経緯をお伝えすることで、弊社メンテナンス剤をご理解頂ける一助になればと思います、以下、アウルコート発売に至るまでの経緯をまとめましたのでご参考にして頂ければ幸いです。

アウルコートの発売に至るまでの経緯を振り返る上では、弊社コーティング剤であるG・Force-1のお話からする必要があります。4半世紀以上の歴史となりますので、長文になりますことご容赦下さい。

G・Force-1の開発時は、最初に磨きから取り組みました。磨きが完全に出来て次のコーティング作業の妨げにならないすなわち、油脂成分を残さない研磨剤SPCの開発をしました。そして、コーティング剤G・Force-1の開発ですが、G・Force-1が目指した仕様は、完全硬化型のコーティング剤で、長期に渡る塗装被膜保護と汚れの固着を防ぐことを目的とした製品でした。そこで開発されたG・Force-1の特徴は、それらに対して、弊社が知る限り、当時の既製品に劣るものではないと判断し、一部販売を開始し協力店に評価して頂いたところ、それまで、協力店様をご使用されておられたコーティング剤に比較して、

- ・薄膜完全硬化型で強固な皮膜で、オリジナルの塗装を守る。
- ・仮に、汚れが固着しても定期的な作業、すなわち、磨きとG・Force-1の再施工で、非常に優れている“。

として、概ねその性能が認められました。

以上の、経緯で、一般の販売を開始した製品がG・Force-1です。

ちなみに、雨染みや鉄粉等の汚れの固着の度合いは、環境や洗車の頻度により千差万別であり、先行販売でそれなりの評価を得た製品であっても、決して完全なものであるとは言えませんので、弊社では、一般の販売を開始した際に、正直な表現として、「固着物の種類やそれが放置された状態によっては、洗車だけで除去できない場合もあります」と

の文言を使用しておりました。幸い多くの場合、G・Force-1は、狙い通りの性能を発揮して好評を得ておりましたが、そのこと（洗車だけで除去できない場合）が現実となる事例を受けました。その事例のみならず、その以前から、

- ・G・Force-1を施行した拘りのあるユーザー様方々からメンテナンス剤の要求が多くあることを施工店様方々からお聞きする様になっていました。
- ・また、施行店様方々から、特に濃色車のメンテナンスに効果的なメンテナンス剤が欲しいとのご要望を次第に強くお聞きする様になっていました。

そこで、次に着手したのが、G・Force-1 用メンテナンス剤の開発です。

弊社では、まず、

- ・雨染みなどの汚れのより効果的な付着防止。汚れても固着をより強く防ぎ洗車後の水を拭き取る作業で直ぐに除去できること。

- ・さらに、撥水性の持続！

これらを、高いレベルで強化できるメンテナンス剤の開発を目指しました。

その結果、最初に開発された G・Force-1 用メンテナンス剤が、プロ用のメンテナンス剤である“グロス”になります。

そして、その“グロス”について、G・Force-1 を施工した車に対してのみ効果があると弊社では考えておりましたが、プロ用の G・Force-1 メンテナンス剤として、“グロス”をお使い頂いている、ある施工店様からのご報告で、「お客様へのサービスで、G・Force-1 を施工していない新車に“グロス”を施工したところ、撥水と汚れ除去において、非常に効果があったとの情報を頂きました（正確に申し上げますと、G・Force-1 を施工していない車に対して、“グロス”を施工しても問題ないか？とのお問合せだったのですが）。

開発元である弊社では、“グロス”に使用している原料に、塗装面に対して攻撃性のある化合物を一切使用していなかった事を、当然、把握しておりましたので、直ぐに“全く問題がないこと”をお伝えする一方で、G・Force-1 を施工している車でも G・Force-1 を施工していない車でも一般的ユーザーの方々にお使い頂ける製品として、“洗車楽”を 20 年以上前に開発し発売を開始しました。

その時、プロ用メンテナンス剤“グロス”、一般のユーザー様用“洗車楽”と言う製品コンセプトが確立しました。

その後、施工店様方々からの“グロス”に対するさらなる性能アップのご要望を頂戴し、“グロス”の進化版である“トップコート”の開発に至り、2020 年 11 月に、トップコートの発売を開始しました。その後も、改良を継続してまいりました。その結果、弊社でも、G・Force-1 コーティング後の一年メンテナンスで毎月約 30 台入庫がございますが、一年位前からウォータースポット除去のための研磨作業が必要ない車両が大半になってきて、仮に汚れの固着が見られても簡単な除去方法でメンテ作業が完了する様になりました。改良された“トップコート”では、ウォータースポットが固着せず上に載っているだけという印象です。因みに、これまでに黒のテストパネルに水道水を掛けて反復テストを繰り返しています。水道水にはケイ素やカルシウムが存在するため、夏場の洗車は固着が発生し易いですが、“トップコート”が掛かっていれば心配ないレベルになります。

一方、洗車楽につきましては、その名の通り、これを定期的に使っていただければ、洗車が楽になり撥水状態を保つことが出来るので、お陰さまで一般ユーザーのお客様方々からも根強いご支持を頂いております。

そして、この度、プロ用のトップコートの一般ユーザー様向けブランド製品として、アウルコートを開発し販売を開始しました。このアウルコートは、現在の“トップコート”の性

能を維持したまま、G・Force-1のメンテナンス剤として、一般のユーザー様方々にもご利用頂ける仕様となっております。もちろん、アウルコートは洗車薬と同様に、G・Force-1を施工していないお車にご使用頂いてもその性能（撥水性と汚れの固着防止）を発揮するという一面も備えております。

これらメンテナンス剤のラインナップ（“グロス”、“トップコート”、“洗車薬”、“アウルコート”）を、お好みやご使用頻度等に合わせご利用頂ければと思います。なお、G・Force-1につきましても、発売以降、改良を重ねておりその性能は決して時代遅れな製品ではございませんので、是非、お試し頂きご評価下さい。

／以上です。

カーファインインターナショナル
カーファインプロジェクト